

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩正子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳蔵  
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

## 練馬で戦争NO！の学習会、パレード相次ぐ

安倍内閣の暴走が続いていますが、国民の反撃は、全国に波涛のように広がっています。自公政権は、会期末までに戦争法案を通すことが出来ず、95日の延長を決めましたが、その期間は、我々国民が、戦争法の

欺瞞性、憲法の重要性をますます明らかにする時間になりました。練馬区でも、この期間多くの学習会、デモが行われました。

## 戦争法NO！ねりま集会&パレードに1,350名が参加（7月1日）

練馬の市民運動は、最近では、さよなら原発を含めて新しい広がりが見られますが、「戦争法NO」の戦いは、まさに「オール練馬」の表情を見せ始めました。政党では、民主党、維新の会の一部、市民の声ねりま、新社会党、社民党、市民福祉フォーラム、練馬ネットなどほとんどの政党が、呼びかけに応じ、街頭宣伝に立つという状況です。組合も練馬区労協、全労協練馬、練馬労連と区内の労働組合を網羅しました。市民団体も多くが賛同し、7月1日(水)平成つつじ公園で集会、桜台までパレードを行いました。

当日は、雨も上がり、賛同人となった高畑勲さん、暉峻淑子さんもかけつけ、練馬のデモで歴史上最も多く1,350人が集まりました。

あいさつに立った若者の代表の黒田朝陽さんは「いま全国で、若い人が、戦争にはいかないという強い意志で、戦いを始めています」と語り、練馬・文化の会会員である望月達雄さんは「戦争にいかされた屈辱は、

忘れない。二度と再びあつたことが無いように死ぬまで戦う」と力強い宣言をされました。小さい子供を持つ扇田梨絵子さんは「絶対に子供を、殺したり、殺されたりする場所に生かせない」と語り、元レンジャー部隊の井筒高雄さんは「安倍政権の戦争法の話は、欺瞞ばかりだ。自衛隊員は、最前線で犠牲になる」と話しました。

デモは、予想以上の参加で、宣伝スピーカーが足りず、生声でコールするなど、永遠と列が続き、練馬駅前、桜台の人たちを驚かせ、飛び入りの参加者も出てきました。

これも安倍内閣の怒りが、練馬の中でいかに増えているのかという事と、オール練馬の力が、この集まりを成功させた原因であります。

この集会&パレードには練馬・文化の会員も多く参加いたしました。

## 日米外交に新しい風を一猿田佐世講演会・練馬革新懇（6月21日）

沖縄の翁長知事・稲嶺名護市長のアメリカ訪問を側面的に援助している弁護士猿田佐世さん（練馬・文化の会会員）が、6月21日練馬革新懇主催の講演会で「日米外交に新しい風を一沖縄基地問題と集団自衛権・安保体制を題材に一」をテーマに話しました。

参加者は、予想を上回る200名以上になり、会場は熱気にあふれました。

集団的自衛権の恐ろしい内容。いつでもどこでも、戦争する場所、紛争地域に行く内容になっている事。これについて、アメリカでは、「自分たちの国民が、負担が少なく無くなるのは、喜んでいるが、日米の合意の内容については、ほとんど知らない。国防担当の

責任議員でさえ、沖縄の人口は、5000人くらいかと語っている。これが今までの日本の外交の姿であるし、実態である。これでは、ダメだと思い、NPOを通じたり、知り合いの政府関係者、議員に働きかけ、日米安保の実態、沖縄の現実をつきつけ、いま進めている戦争法案が沖縄の辺野古基地問題と同じように危険で、国民の声を反映してないことを、伝えていきたい」と話しました。

猿田氏が進めている新外交イニシアティブ（ND）は、鳥越俊太郎、柳沢協二さんらと共に「新しい日米外交」を進めていこうという組織で、注目を集めています。

東ねりま9条の会主催学習会（6月29日）

若者を海外の戦場で死なせるな！；講師—大内要三さん

東ねりま9条の会主催で、大内要三さん（練馬・文化の会会員）の講演会「若者を海外の戦場で死なせるな！」

が6月29日、ココネリで約30名の出席で開かれました。①自衛隊はいま何をしているか②日米共同作戦の約束③戦争法案の条文を読むを柱に、最後に戦争国家への道を絶つために何をしたらいいのかと話をしました。

もうすでに日米は戦争法案を先取りしている事。第3次日米のガイドラインは事実上の日米安保条約の改定であることを強調。運動の進め方では、小選挙区制の弊害が、国会と国民の隔離

があること、過去の侵略戦争の反省をふまえた「戦争反対」を行う必要があること。日本国憲法の平和主義は一国平和主義ではないことの自覚が必要で、ここから東アジアの平和、安保廃棄への展望が生まれると語りました。

大内要三さんからは29日当日の講座内容をまとめたパンフ(A4・6P)を頂いていますので、関連の集会などで配布する予定です。

会員相互の親睦と交流の強化を：フリートーク企画

15年度第1回は木谷八士さんによる「高齢者の暮らしと健康」

7月9日(木)午後2時～ココネリホール西側 資料代：300円

併映「NHKスペシャルーひとり団地の一室で」

15年度は会員間の親睦強化をめざしてフリートーク企画の強化を打ち出していますが、その第1回が木谷八士さんによる「高齢者の暮らしと健康ーわれは行く“お節介”と言われても」です。幹事の荷口さん所蔵のビデオ「NHKスペシャル ひとり団地の一室で～45年目の“夢の住まい”」が併映されるのがみそです。

荷口さんは話題になった多数のテレビ番組(ドキュメンタリー)をストックしており、こうした企画にふさわしい番組を即リサーチできるように整理しています。今後のフリートーク企画は、この荷口所蔵の番組リサーチから始まりそうです。会員の皆さま、トーク企画のアイデアをお寄せ下さい。

「もあい練馬」等による「沖縄戦を考える練馬の集い2015」

「オール沖縄」の象徴：仲里利信衆院議員迎える講演会

9日(木)午後6時半～ココネリホールで、猿田弁護士とのトークも

柏木美恵子さんが主宰する「もあい練馬」は毎年「沖縄戦を考える練馬の集い」を実施してきましたが、第6回を迎える今年は『「オール沖縄」の魂を伝える』のテーマでその象徴的存在ともいえる仲里利信衆院議員を招聘し、上記木谷企画に続き、同じ9日(木)午後6時半～ココネリホールで開かれます。

仲里議員は同封チラシにあるように、自民の西銘恒三郎氏の後援会長についていたこともある“保守派”。その西銘氏が公約を翻して辺野

古基地容認に転じたのを機に、名護市長選では稲嶺氏を、沖縄知事選では翁長氏を応援し、昨年の衆院選では沖縄4区で「オール沖縄」から立候補し、西銘氏を破って当選した人です。

「もあい練馬」は現地・沖縄での仲里議員との接触を通じて、今回の企画誕生になりました。

1部は仲里氏の講演、2部は仲里氏と猿田佐世弁護士とのトークセッションという企画が組まれています。

「沖縄戦後70年：基地問題とジャーナリズム」7月12日(日)後1時～ 明治大学グローバル棟グローバルホール(1階)

研究報告：山内健治・明大教授 パネル討論：金平茂紀・TBSキャスター、影山あさ子・映画監督、宮城栄作・沖縄タイムス東京支社報道部長

NHK問題に取り組んできたいいくつかの団体が協賛しての沖縄問題のシンポジウムが7月12日に駿河台の明大で行われます。折しも自民

党勉強会での「沖縄の2新聞社はつぶすべきだ」との発言がなされた直後だけに、関心呼びそうです。読谷村の基地事例を報告する山内明大

教授は社会人類学・民俗学の専門家、パネラーの3氏は放送、映画、新聞のマスコミ関係者で、

時機にあった論議が期待されます。

文化の会の45周年企画は「沖縄」もので・・・

会内外の関係者の英知を結集して楽しく実のある内容を！

練馬・文化の会は来年、創立45周年を迎えますが、記念企画として「沖縄」企画に取り組むことを決め、関係者への接触を始めています。本年1月の新年会で演じていただいた沖縄舞踊が好評を得たために企画されたもので、辺野古新基地反対をかかげる翁長知事の誕生、衆院選での「オール沖縄」候補の圧勝など、時機的に

ピッタリのテーマです。35周年は「邦楽」40周年は「洋楽・邦楽」の企画でしたが、ともに琵琶の水藤さんがいればこそこの企画でした。次いで「沖縄音楽」という並びはいいのですが、何せ専門家不在での企画スタートです。会員の皆さま、大きな知恵と力をお貸してください。

会員の皆さま、14日（火）後0時15分に武蔵大学正門前に集合です！

武蔵大学の永田教授・ゼミの学生と番組制作の打ち合わせ

同日後3時～ギャラリー古藤で永田教授の「ベン・シャーン」講演

小岩さん主演の「風船爆弾」番組を生んだ武蔵大と文化の会共作による「テレビみつがしわ」番組の制作が再スタートします。すでに永田教授の指導により番組のテーマである「アスベスト」問題についての学生の取材・撮影が始まっています。永田教授の申し入れで7月14日後0時15分、武蔵大学正門集合で文化の会と武蔵大学・学生の取材報告・打ち合わせを行うことになりました。

この日は午後3時から同大学前のギャラリー古藤で文化の会・美術会主催で永田教授の「ベン・シャーンを追いかけて」の講演があります

ので、番組打ち合わせ出席の方は引き続きの参加ができます（事前申込みが必要）。

永田教授は6月30日、国会内で開かれた「言論の弾圧を許すな！怒りの緊急集会」に参加し、『NHK時代に、日本軍従軍「慰安婦」問題を扱った番組で「偏向プロデューサー」の烙印を押された。その時にNHK幹部を呼びつけたのが当時の官房副長官の安倍晋三だった。最近までNHK経営委員だった百田氏は安倍氏の“盟友”の一人だった』と安倍総理を指弾。まさにジャーナリスト精神にあふれる発言でした。

区主催「平和祈念コンサート」に小岩昌子さんが“語り部”で主演

8月7日午後6時～文化センター大ホール：7月15日締めで申込必要

小中学校や市民団体への小岩昌子さんの「風船爆弾」の語り部活動はすでに50回を超えているのではないのでしょうか。今度は8月7日（金）午後6時～文化センター大ホールで行われる区主催の「平和祈念コンサート」に20分

をこなす語り部として登場します。同封チラシのように、入場は無料ですが、7月1日から申し込み受付開始。往復ハガキで15日締め（必着）ということですので、即お申し込みを。

文化の会の第3回「語り部」セミナー：テーマは「銃後の守り」

8月1日（土）午後2時～5時 ココネリ第1研修室東 資料代300円

小岩さんを進行役に、元教員の3人が語り部に

